

■コメント

1. 伝染性紅斑

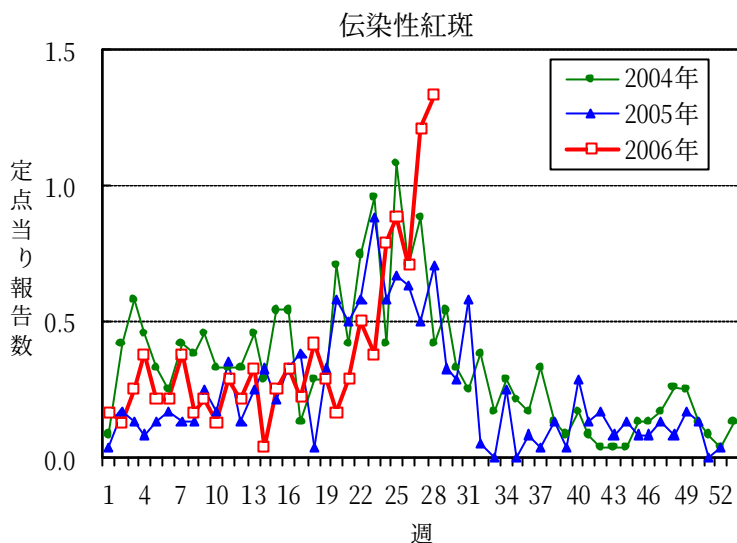
定点当り1.33人とほぼ横ばいとなっていますが、例年同時期と比べて、かなり多くなっています。佐伯区4.0人、中区3.3人と特に多く、西区1.3人、安芸区1.0人となっています。

2. ヘルパンギーナ

定点当り4.42人とほぼ横ばいとなっています。安芸区では19.0人と特に多く、佐伯区5.7人、東区5.0人、西区4.0人、南区3.3人となっています。

3. 咽頭結膜熱

定点当り0.67人と横ばいとなっています。中区、南区、西区、安佐南区ともに1.0人となっています。



■5類感染症報告状況 定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1間)	発生記号
インフルエンザ注2)	2	0.05	-		麻疹注3)	-	-	0.06	
咽頭結膜熱	16	0.67	0.58	⇒	流行性耳下腺炎	17	0.71	1.27	⇐
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.09	⇒	RSウイルス感染症	-	-		
感染性胃腸炎	124	5.17	3.47	⇒	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	19	0.79	1.42	⇐	流行性角結膜炎	11	1.38	1.13	
手足口病	9	0.38	10.81		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	32	1.33	0.68	⇒	無菌性髄膜炎	10	1.43	1.23	
突発性発しん	20	0.83	0.87		マイコプラズマ肺炎	6	0.86	0.26	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	106	4.42	5.02	⇒					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3) 成人麻疹を除く

(注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	12	女性(20歳代)・O157、女性(60歳代)・O157
5	後天性免疫不全症候群	1	4	男性(40歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移（定点把握対象分）

			インフルエンザ (注1)	球 菌 咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	麻 し ん (注2)	流 行 性 耳 下 腺 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (注3)	成 人 麻 し ん
報告数	広島市	第24週	11	21	45	133	85	9	19	23	1	-	44	-	29	-	-	3	-	1	8	-	-
		第25週	20	16	36	109	66	11	21	22	1	-	68	-	31	-	-	2	-	9	10	-	-
		第26週	15	13	32	138	55	5	17	15	-	2	76	-	27	-	-	6	-	5	3	-	-
		第27週	3	16	25	128	27	10	29	17	-	-	102	-	21	-	-	6	-	4	3	-	-
		第28週	2	16	32	124	19	9	32	20	-	-	106	-	17	-	-	11	-	10	6	-	-
定点当り	広島市	第24週	0.30	0.88	1.88	5.54	3.54	0.38	0.79	0.96	0.04	-	1.83	-	1.21	-	-	0.38	-	0.14	1.14	-	-
		第25週	0.54	0.67	1.50	4.54	2.75	0.46	0.88	0.92	0.04	-	2.83	-	1.29	-	-	0.25	-	1.29	1.43	-	-
		第26週	0.41	0.54	1.33	5.75	2.29	0.21	0.71	0.63	-	0.08	3.17	-	1.13	-	-	0.75	-	0.71	0.43	-	-
		第27週	0.08	0.67	1.04	5.33	1.13	0.42	1.21	0.71	-	-	4.25	-	0.88	-	-	0.75	-	0.57	0.43	-	-
		第28週	0.05	0.67	1.33	5.17	0.79	0.38	1.33	0.83	-	-	4.42	-	0.71	-	-	1.38	-	1.43	0.86	-	-
	全国	第26週	0.49	1.28	1.86	3.50	2.20	1.35	0.79	0.83	0.02	0.01	4.24	0.01	1.74	-	0.03	1.24	0.02	0.08	0.39	0.01	-
		第27週	0.34	1.33	1.65	3.48	1.65	1.66	0.61	0.79	0.01	-	4.24	0.01	1.68	-	0.03	1.41	0.02	0.08	0.42	-	-

注1)高病原性鳥インフルエンザを除く 注2)成人麻疹を除く 注3)オウム病を除く

■5類感染症報告状況の推移（STD（性感染症）・基幹定点月単位報告分）

			STD(性感染症)定点												基幹定点											
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症					
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			
報告数	広島市	5月	16	11	5	9	2	7	1	0	1	9	8	1	44	26	18	6	2	4	1	0	1			
		6月	12	9	3	5	5	0	2	2	0	11	10	1	56	33	23	6	2	4	1	1	0			
定点 当り	広島市	5月	1.78	1.22	0.56	1.00	0.22	0.78	0.11	0.00	0.11	1.00	0.89	0.11	6.29	3.71	2.57	0.86	0.29	0.57	0.14	0.00	0.14			
		6月	1.33	1.00	0.33	0.56	0.56	0.00	0.22	0.22	0.00	1.22	1.11	0.11	8.00	4.71	3.29	0.86	0.29	0.57	0.14	0.14	0.00			
	全国	6月	3.05	1.37	1.69	0.91	0.37	0.54	0.63	0.34	0.29	1.12	0.93	0.19	4.32	2.65	1.67	1.23	0.68	0.54	0.13	0.09	0.04			

定点数 STD定点 9 基幹定点 7

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
急性出血性結膜炎	1	男	不明	糞便	アデノウイルス2型
無菌性髄膜炎	5	男	2006/05/29	糞便	エコーウイルス18型
アデノウイルス感染症	2	男	2006/04/07	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
アデノウイルス感染症	2	男	2006/04/07	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
ギランバレー 症候群	1	男	不明	咽頭拭い液	パレコウイルス

■ウイルス検出情報速報 **エコー18型急増！**

エコーウイルス18型が3月採取検体から今年初めて分離された後、7月14日まで、計22人の患者から分離されています。

発病月別にみると3月2人、4月4人、5月7人、6月9人で、年齢別にみると0歳児が7人と最も多く、低年齢層の患者が目立っています。

臨床診断名別では、無菌性髄膜炎が12人と約半数を占めており、主要症状は発熱、髄膜炎で、呼吸器系症状や髄膜刺激症状としての嘔気、嘔吐を伴う場合もみられます。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.cityv.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第28週 7月10日～7月16日)